

2015年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 講評一覧

2016/03/20 実施

会場	順	評価	講評など
----	---	----	------

審査員

A会場

鎌田 潤 (元コンテスト委員長)
久下 哲也 (府立布施)
谷 典子 (帝塚山学院)
瓦林 朗 (東海大仰星)
松田 朋子 (府立みどり清朋)

B会場

秋本みゆき (大阪市立南)
緒方 稔 (府立桃谷)
内野 洋子 (プール学院)
山中 華 (箕面自由学園)
西川 和希 (浪速)

5人の審査員が100点満点で採点し、合計500点で評価しました。

上位5人を優秀賞、続く6人を奨励賞としました。

さらに、14人をB評価、10人をC評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

2015年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 講評一覧

2016/03/20 実施

会場	順	評価	講評など
A 会場	1	B	声はよく出ているが、話す速度が一定で単調な印象を受ける。また、全体的に切りすぎ。少し思い入れが強く感じる。全体の雰囲気はもう少し明るい。場面の切り替えに注意してポーズをとったり切ったりしよう。
	2	奨励	発声や発音はよい。作品にあった声。声をお腹から出すともっと安定する。台詞にもう一工夫ほしい。「ありがとう」はもっといろいろありそう。
	3	C	ナンバーコールが違う。緊張していたのか、文章が切れ切れになってしまった。もっと落ち着いてたてるところを考えて読もう(うねりがあった。「自分を感じた」のイントネーションが強すぎる)。
	4	奨励	発声がしっかりできていて聞き取りやすい声だが、息がマイクにのる「吹かれ」があった。係り助詞や、引用の「と」が少し強い。テンポを工夫し切るところを考え、地の文と台詞のバランスに工夫しよう。少し早い。
	5	奨励	ポーズやテンポは良いが、エッセイなので小説のように場面を作りすぎるのは良くない。サ行が少し弱い(しずかな→ちずかな に聞こえる)。「祖母たちは決して」で大きく切るのは変。
	6		欠席。
	7	C	よく通る声だが、小さかった。発音、滑舌が甘い。まず基礎練習から。声を作らず、自然な発声で。台詞にぶつ切り感がある。
	8	B	音量はあるが、マイクに近すぎる。イントネーションが語尾に向かって一方的に上がっているように聞こえる。また、文末が早くなることもある。波打って聞こえる。意味の塊を考えて読もう。エッセイとしては少し大げさな表現だった。
	9	B	意味の塊は意識できていた。もう少し、声を出しても良いかも。音のさばきが良くない。文末はもう少し丁寧になると良い。「ホコリっぽい」で場面が変わるのに間がなさ過ぎた。少し淡々としているので、もう少し気持ちをのせてもいいかも。
	10	B	マイクに声があまりのっていない。長い文で少しうねりがあり、また後の方が強くなる傾向がある。文末で音を止めよう。「できない」が立っている。
	11	B	声を潜めた感じになっている。押し殺さず声をマイクに乗せよう。全体的に淡々とした印象を受ける。「寝転んでいる」のアクセント、助詞「と」に注意。
	12	優秀	明るく聞き取りやすく、丁寧に読んでいる。間の取り方も良いが、文と文の間が単調。もう少しリズムが軽い方が良い。文末が時々上がるのでもう少し落ち着かせるとなお良くなる。
	13	B	太く良い声だがのどが力んでいる印象を受ける。もう少し自然に肩の力を抜いて淡々と読もう。ポーズと切れるの違いがわかるようにしよう。ナンバーコール、「求められた」のアクセントに注意。エッセイとしては少し大げさなところがある。
	14	C	もっとリラックスして一音一音を大切に。お腹からしっかり声を出そう。アクセントは辞典で確認しておこう。語尾が下がりきらず上がっている。文末はしっかり止めよう。著者名の発音が曖昧。
	15	C	少し早口で口先で読んでいる。一文一文をもっと丁寧に。一音一音をもっとしっかりと。棒読みの印象をうけるので内容まで踏まえて相手に伝わるように読もう。
	16	C	声は出ているが演劇調のような独特な読み方。全体的に大げさ。うねりあり。相手に話しかけるように読もう。「だったので」が強くなる。語尾が落ちていないので息を止めるようにしよう。
	17	優秀	発声はできている。少し早口で言葉が滑るところがある。文末まで丁寧に読もう。「ものだった」や助詞「と」に注意。「寝転んでいる」の発音に注意。
	18		欠席。
	19	B	発音発声はできている。下からしゃくる癖がある？ 文末が下がりきらずに消えてしまうときがある。前半に少しうねりあり。もう少し一音一音を大切に。「祖母たちは決して」で切るのは良いか？
	20	B	間の取り方に工夫がみられるが、ぶつ切り感が出ないように注意しよう。淡々とした印象。もう少しゆっくりと気持ちを乗せるともっと良くなる。音程の幅をもう少しとれると楽になる。文末句末の処理に注意。「杉」が沈んでいる。お花のお稽古に行くのは誰？うまく伝えられていない。

2015年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 講評一覧

2016/03/20 実施

会場	順	評価	講評など
A 会場	21	B	明るい声。テンポ、ポーズは良い。丁寧に読んでいると思うが、発音が所々甘いので、基礎練習を。著者、「寝転んでいる」、助詞の「と」、サ行など滑舌に注意。すこし言葉が滑っている。台詞の表現をもっと研究を。
	22	B	少し淡々としているので、もっと思いを声に乗せて緩急をつけると良くなる。文末をしっかり止める。台詞は良い。読み違いが気になった。
	23	C	落ち着いた良い声。長い文の処理(意味に沿って読み方を考えよう)。文末の「た」が伸びている。一音一音をもっと丁寧に。マイクに息がかかっている。
	24	C	一音一音もっと丁寧に。長い文の処理。助詞はねる。切れ切れになってしまっているため意味を考えて切る場所を決めよう。サ行(ささえて)のアクセント。
	25	奨励	明るく聞きやすい声。やや単調。もう少し間を工夫し、リズムがほしい。場面の切り替えに注意。「そつと」「きつと」無声化に注意。
	26	C	声がマイクにのっていない。お腹からしっかり支えて声を出そう。単調なので意味を考えて読もう。「求められた」のアクセント。文末はしっかり止める。
	27	C	早口なので、相手が受け止められる速さでもっと落ち着いて読もう。音がはねている。声の調子が一定で内容が伝わりにくい。また、場の雰囲気合っていない。
	28	B	落ち着いた聞きやすい声。場面転換に注意。「握った」「めぐった」のアクセント。「しかし」「知っている」の無声化に注意。文末の処理。どンドン声小さくなってしまっているためお腹をしっかり支えて声を出すようにしよう。もっと思いを声に乗せて。
	29	奨励	場面転換に注意。やや波打っている印象がある。最後の語尾、切り上げている感じなので注意。イントネーションに注意。「決して」のところで切らない方が良い。「握った」「めぐった」アクセント。
	30	B	明るい声だがやや単調。サ行の発音、「決して」「知っている」の無声化に注意。文がばらばらな感じがするので、一音一音をもっと丁寧に。
	31	C	早口でときどき言葉が滑る。文末をしっかり止め、ゆっくりと読もう。単調。場面転換を考えよう。「できない」「考える」「とつた」など用言をたてないようにしよう。少しくねりあり。
	32	B	ふわつとした発声。高低の幅をうまく使えていないので文末が響かない。単調で元気が無い。思いを声に乗せて読もう。マイクに息が入っている。「きらっていない」が聞こえない。
	33	優秀	発声発音ともにしっかりとできている。響きの良いわかりやすい声。「できない」でたてないで、「しかし」の前にも間がほしい。
	34	優秀	丁寧に読みで聞き取りやすい。台詞がうまく読めている。文と文の間が同じ感じ、高低幅をうまく使えていないので文末が響きにくい。文末をしっかり止めよう。もう少し思いを声に乗せるとなお良い。
	35	B	やや早口。もう少し落ち着いて一音一音の発音を丁寧に。サ行に注意。「決して」で切らない方が良い。「めぐった」のアクセントに注意。内容に合う読み方を工夫しよう。エッセイとしては重い。もう少し高い音域を活用しよう。
	36	優秀	よく伸びる声で聞き取りやすい。情景が伝わる読み。やや単調な印象がある。場面転換を意識して間の取り方とフレージングを工夫するとなお良くなる。「めぐった」のアクセントに注意。
	37	奨励	聞き取りやすい声だが後半やや声が消えてしまう。声のさばきが良くないところがある。エッセイとしては少し重い。声の高低の幅をしっかりとろう。
	38		

2015年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 講評一覧

2016/03/20 実施

会場	順	評価	講評など
B会場	1	B	もう少し口を大きくあげよう。「～で」が下がりすぎ。ナ行の演習を。間が長すぎる。「ありがとう」に工夫がほしい。語尾に走るところがある。
	2	奨励	しっかり声が出ているが、やや一本調子。会話文が冷たい印象。語尾が消える。「ありがとう」の解釈をもう少し深めてほしい。
	3	B	前半は心情がよく伝わってきたが後半は声が小さくなりすぎた。少し早すぎ。タイトルからゆっくり読もう。文末の処理が雑で息混じりになっている。「消えない」のアクセントに注意。
	4	B	よく声は出ているし情景も伝わるが真ん中あたりが舌たらずもう少し文頭を高く入り文末をきちんと下げること。マイクの使い方に注意。
	5	B	丁寧に読めているが、全体に単調。早く読んでも良いところもあるので研究しよう。「ききかた」が聞き取りにくい。マイクに吹かれあり。
	6	B	かわいい声で心情や台詞はよく伝わった。「ジ」が「シ」になる。滑舌が少し甘い。うねりあり。語尾が伸びる。単調にならないように工夫を。
	7	優秀	意味のまとまりを考えて読めている。心情表現はうまい。後半に感情が消えた。最後の一文の読み方は場面にあっていない。もう少し作り込もう。
	8	優秀	意味のまとまりを理解して読もうとしている。聞き取りやすい読み。サ行が甘い。「サイン会」に聞こえる。語尾の処理に工夫を。台詞が「涙をぬぐった」にあわない。
	9	奨励	一音一音を大切に読んでいるがマイクとの距離が近すぎる。声を作らず客観的に読もう。「いらっしやる」の解釈が違う。「つ」がマイクを吹いてしまう。
	10	B	間の取り方に工夫が必要。作為過剰に気をつけて。タイトルが寂しそうに聞こえる。最後の一文も悲しそう。主人公の気持ちをもっと考えてみよう。「声」など助詞を丁寧に。文末が消えてしまう。
	11	C	内容を理解して読もうとしている。滑舌が甘く、「ワタシ」「キオク」等不明瞭な音がある。拍を大切に読んで練習をしよう。ぶつ切れ感あり。ナミダの強調の意味は？
	12	B	台詞のやりとりを工夫して読んでいる。タイトルコールをもっとしっかりと。文末が鼻から音を抜き息混じりになってしまった。「杉子」のギが不明瞭。「イ」の口の形を確認しよう。「杉」という字が目についた」が文意と違う。少し吹かれあり。
	13	C	タイトルコールをもっとしっかりと。情景が見えてこない。大切な言葉をたてることを意識して文章を読み込んでみよう。文頭をもう少し高く始めよう。「ワタシ」「シツテイル」の音が濁る。うねりあり。
	14	C	「14番」に注意。自然な発声だが口をもう少し開けると良くなる。一文字ずつ読み過ぎの感あり。「ありがとう」のアクセントに注意。「口のききかた」「ダッタ」が聞き取りにくい。
	15	B	古典ながら意味を理解して読めている。「15番」のアクセント。地の文は高いところから始めよう。文末が不安定。「などず」など語尾が上がると意味が伝わらなくなる。ナ行・マ行が鼻にかかるところがある。間にもう一工夫を。
	16		欠席。
	17	B	意味のまとまりを考えて丁寧に読めている。声もしっかり出ている。作者の表現がつかめている場所もあるが、もう少し丁寧に。サイン会の場面以降少し早くなる。「彼女たち」「ふいに」をしっかりと。少し吹かれあり。
	18		欠席。
	19	B	声はよく出ているが単調で一本調子。とりたててミスは無いが、相手に伝えようという気持ちが伝わってこない。もう少し丁寧に文頭を高くして読もう。「祖母」が「ソモ」に聞こえる。
	20	奨励	タイトルコールをもう少しさらっと。丁寧に大事な言葉をたてて伝えている。テンポも良い。ささやいているように聞こえるところがあるのでもう少ししっかりと。後半になると情景が見えにくくなった。「葉っぱだった」が不満そう。

2015年度 第4回放送技術講座 朗読発表大会 講評一覧

2016/03/20 実施

会場	順	評価	講評など
B 会場	21		欠席。
	22	C	声が小さいので、腹式呼吸の発声練習をしっかりとしよう。作品の読み込み不足で意味が伝わっていない。「アクシュ」「シズカ」などサ行に注意。
	23	奨励	元気な発声で聞きやすく丁寧に読んでいる。文末の処理が甘く、語尾が消えるところが多い。最後の一文の区切りに工夫が必要。
	24	C	ぶつ切り感がある。意味のまとまりを考えて区切ろう。テンポが一本調子。「彼はあ」など助詞を強調しすぎ。所々音が消える。
	25	C	本文を理解して読もうとしている。少し早い、ぶつ切れ感あり。助詞「と」「に」が伸びる。母音の口の開け方を確認しよう。「彼女たちは」「わたし」が不明瞭。サ行が少し甘い。最後の文をもう少し丁寧に。
	26	C	台詞の表現力は工夫が感じられた。早い。読みにくい文なので意味のまとまりを意識して間を工夫しよう。タイトルコールと本文の間にもう少し間がほしい。
	27	C	単調で調子読みになるところがある。意味が伝わりにくい。テンポを工夫し、大切な言葉をたてるように。文頭をもう少し高く始めよう。「雰囲気」「ヒトリ」に注意。
	28	B	間に工夫があり、内容がよく伝わる。もう少し声量があればなお良い。お腹で支えてしっかり発声しよう。「ありがとう」は低すぎる。解釈を考えよう。
	29	C	単調でぶつ切れ感あり。読点は意味のまとまりで考えよう。情景とあわない部分がある。文頭をもう少し高く入ると語尾が苦しくならない。鼻濁音に注意。
	30	優秀	丁寧に自然な発声。メリハリもある。意味のまとまりを考えて読むとなお良くなる。「明治うまれの女」は塊で読もう。「書店」のアクセントに注意。
	31	B	カフカの世界観を理解しようとしている。本文の冒頭などささやきになり音が消えるところがある。妹の会話文が場面にあっているか、もう一工夫ほしい。
	32	C	落ち着いて読んでいるが一本調子で声量がない。喉から息を出しているため文末が消える。節をつけて読むところがあるので、大切な言葉をしっかりとたてよう。「どこにいらっしやる」の解釈が違う。
	33	B	丁寧に読んでいるが、やや一本調子。言葉の立てかたが不自然で、表現と意味が繋がらない。「ワタシハ」が濁る。後半になるとだんだん良くなってきた。
	34	奨励	語尾の処理やプロミネンスは良くできている。意味のまとまりの工夫はみられるがもう一歩。やや早い。マイクに近い。吹かれあり。「サイン」を立てすぎ。
	35	B	内容をよく理解し、声はよく出ているが、やや一本調子。タイトルに感情が入ってしまった。文末が浮き上がるので、しっかり下げよう。声をセーブしているように聞こえる。ささやくのはもったいない。
	36	奨励	地の文と台詞がうまく読み分けられている。前半は聞きやすいが後半が早くなった。「クチノキキカタ」の無声化を確認。「ごめんなさい」の表現に注意。
	37	優秀	工夫して読めており、情感も伝わってくる。元気な翁ですね。丁寧な表現は効果がある。「～はあ」と伸びるところがある。母音の口の開け方をチェックしよう。
	38	優秀	自然な発声で意味のまとまりをよくつかんでいる。ラ行・ダ行が曖昧。少し一本調子。伝えるために更に丁寧な読みを心がけよう。